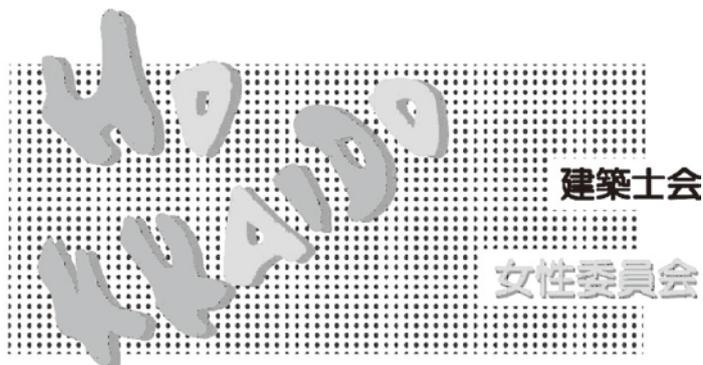


No. 101



もぎなまきこう
毛網毅曠の建築を訪ねて
～釧路湿原展望台～

須藤志津子（釧路支部）

釧路生まれの建築家（1941年～2001年）毛網毅曠は釧路管内に数多くの建築物を残しています。

『反住器』、『釧路市立博物館』、『釧路市立東中学校（現釧路市立幣舞中学校）』、『釧路キャッスルホテル』、『釧路フィッシャーマンズMOO』等が多くの方に知られているところだと思います。

先日天気良かった為、久しぶりに『釧路湿原展望台』に足を運びました。この建物は（やちぼうず）をモチーフにした釧路市内から鶴居村に向かう途中の高台に建っております。



湿原展望台

湿原展望台からは遊歩道があるので、久々に散策をしました。



木漏れ日の階段

木で作られた散策路は足に心地よく、木々の中を歩くことは気持ちを穏やかにさせてくれるものと感じました。



吊り橋

途中にサテライト展望台があり、釧路湿原を一望できます。



サテライト展望台

一周2.5kmの遊歩道です。「散策後に丹頂ソフトをいただく！」と楽しみにしていたのですが、お店がお休みでした。残念！



丹頂の形のソフトクリーム

皆さんも近くにお越しの際は、是非一度訪れてみて下さい。

『私の好きな場所』

～星置神社～

後藤 朋恵（札幌支部）

札幌と小樽の境界の山側に「星置神社」があります。歴史的には明治17年に広島県、山口県から入植した人々の心の拠り所として、もともとは住宅街になっている場所にあった神社が、昭和48年、現在の場所に造営されたようです。神社から海側の地名『山口』は現在、『山口スイカ』で有名ですが、札幌市の夏の最高気温ではいつも名前が挙がります。昼夜の寒暖差が美味しいスイカを育てるのでしょうか。

星置神社から東には金山があります。昭和3年から昭和25年まで手稲鉱山で栄えたということです。地名の『金山』は名残です。星置神社へは、駐車場があるので車でも行けますが、国道から階段を上げて徒歩でも行けます。それほど高さではありませんが、天気の良い日には境内から星置の街並みと大浜、銭函の海が臨めます。



境内からの風景

カエルの置物が沢山あって、ご利益を色々謳っているようですが、私は、海と山に囲まれた自然豊かなこの景色と空気が好きです。どこの境内を訪れても思うことですが、他の場所では感じることはない、境内の中は、空気が澄んでいるように感じます。広島県や山口県から入植した人々が、北海道の寒さの厳しい冬を体験し、祈らずにはいられなかった環境の中で、心の拠り所だった境内は今も人々の祈りの場所になっています。